

しまかわ

学校だより 第7号

令和7年9月30日 北斗市立島川小学校

【学校教育目標】未来をひらき 心豊かに たくましく生きる力の育成

- ☆ 進んで学びつづける子
- ☆ 広い心で思いやる子
- ☆ たくましく生きる子



令和7年度 重点教育目標

ふるさとから学び

たくましく自律し続ける子の育成

学校ホームページ <https://hokuto.ed.jp/shimasyo/> ⇒



『自律』

(自分で考え、自分から行動する経験の積み重ねを)

校長 佐々木 道彦

暑さの残る日が続いていましたが、季節はすっかり秋へと移り変わり、子どもたちの活動にも落ち着きと充実が感じられるようになってきました。

本校ではこの時期、「**自律的な学び**」を育むさまざまな行事が行われています。中でも印象的だったのが、**5年生の四校合同宿泊研修**です。他校の友達との集団生活の中で、時間を守ること、協力すること、自分のことは自分ですることの大切さを学び、「自分の役割を果たす」姿が見られました。

また、**稲刈り体験**では、自然の恵みや働くことの大変さ、収穫の喜びを体験しました。特に低学年の子どもたちは、最初は戸惑いながらも、高学年や保護者に助けられ、自ら工夫して行動する姿が印象的でした。「やらされる」から「自分からやる」へという意識が変わってきています。また、高学年は教え引き継ぐ気持ちが見られました。

さらに、今は来月に行われる**学習発表会の準備**が進んでいます。発表の仕方などを自分たちで考えたり、仲間と協力して練習に励んだりしています。うまくいかないこともあります。自分たちで話し合い、解決しようとする姿に大きな成長を感じます。

これらの体験に共通するのは、「**自律**」の力です。誰かに言われて動くのではなく、自分で考え、判断し、責任をもって行動する——そんな力を、今年度は特に大切にしています。

ご家庭でも、お子さんの「自分でやってみたい」という気持ちに耳を傾け、そっと背中を押していただければ幸いです。

実りの秋に、子どもたちの心にも“**自律**”の**実**が育ち始めています。その成長を共に喜び合いながら、今月も歩んでまいります。

10月の主な予定 「早寝、早起き、朝ごはん!」

1 (水) 3年社会科見学 (スーパーマーケット)
委員会活動

2 (木) 1日防災学校 (全校5時間授業)
《②避難訓練、③防災体験学習、
⑤防災発表会、**放**C S 防災研修》

3 (金) 学習発表会特別時間割開始
あゆみ(通信票)配付

5 (日) 大野地区ノーゲームデイ

7 (火) スポーツクラブ(マラソン練習)

8 (水) 全校朝会 クラブ活動

9 (木) スポーツクラブ(マラソン練習)
特別支援交流会

12 (日) 市民マラソン大会7:50-12:10運動公園

15 (水) 学習発表会児童公開日

17 (金) 北斗市巡回展 (～10/24)

18 (土) 学習発表会

19 (日) 大野地区ノーゲームデイ

20 (月) 振替休業日

29 (水) クラブ活動

30 (木) 複式教育授業公開 (3・4年)

3-4年 5時間授業(給食あり)

他の学年 3時間授業(給食なし)

毎月 第1
第3日曜は、
大野地区ノー
ゲームデイ

一泊二日の『自律』の旅さあ



小さな学校で身に付けた『自律』の力を
大きな集団の中でも発揮していました。

『ふるさと』に学ぶ



春の『親子田植え体験会』で植えた稲はすっかり黄金色。
10/27(土)の『親子稲刈り体験会』では、地域農家の方を師匠に迎えて、大人も子供も鎌を片手に米の収穫体験に汗を流しました。北斗市の農業地域としての『ふるさと島川』ならではの体験、毎年経験している子たちの手際の良さに、**生きた実体験の大切さ**を改めて感じました。

この日は、**特認校のオープンスクール**として市内の小学校児童や幼稚園・保育園児にも案内し、今回は10名の親子が他校園から参加してくれました。この機会に『島川』の良さを発見し、新たな特認児童が来てくれたらと願っています。

9月の島川小



高学年が乳児のお世話や妊婦の苦労の疑似体験を行う**思春期教室**。「子育てって大変なんだなあ」の声に、親への感謝を感じます。

宿泊研修 渡島の縄文文化見学も行った5年生の宿泊研修。大野中校区小学校の合同行事として盛大に開催されました。大野地区4校の交流とあって、事前学習もオンラインで実施して、未来のクラスメートと親睦を深めました。



こんにちは
こちらは
大野小です



1万年の歴史の前で
ハイポーズ！

未来を生きる子どもたちのために ～ 生活習慣改善の取組 ～

毎年、全国調査や学校評価アンケートなどで課題となっている子どもたちの生活習慣。現代は特に「子どもたちがメディアに触れる時間（スクリーンタイム）」の長時間化が問題となっています。そこで本校では『生活習慣』と『メディアコントロール』（デジタルメディアとの自律的な付き合い方）の向上に取り組んでいます。



先日発行の保健だよりでは、**親子での『生活習慣のセルフチェック』**を呼びかけ、「チェックシート」を配布しました。将来、大人になったとき、様々なメディアにあふれた便利な未来社会を生きるであろう子どもたちにこそ、学校と家庭が力を合わせて、『**便利さ**』を生かせる『**自律**』の力を育てていきたいと考えています。